

語りと和楽の芸人衆

かたりと



時代物、現代小説、民話、児童文学、など、
多彩な題材を「語り」と「和楽」でお届けします。

「和楽」はいわゆる邦楽のことですが、

『かたりと』は、

その中でも、弦楽器（箏・津軽三味線）が主の音色。

語り＋糸＝『かたりと』です。

『かたりと』の表現は、原作第一。華美な演出は加えません。

「語り」は、お客様との相互作用で成り立つ、想像のドラマ

…和楽と響き合い、更に立体感が加わります。

もちろん、津軽三味線・箏の演奏もお楽しみください。

ちびっ子からお年寄りまで、

幅広い年齢層の方々にご覧頂くことができます。

【上演作品】

森鷗外『高瀬舟』、

芥川龍之介『奉教人の死』、

中島敦『山月記』、

平岩弓枝『ちっちなかみさん』、

池波正太郎『白浪看板』、

岡本綺堂『半七捕物帳より～槍突き～』『笛塚』、

川口松太郎『七つの顔の銀次』『紅梅振袖』

鳥越碧『衣小夜がたり より～織姫』、

朱川湊人『いっぺんさん』、

齊藤隆介『花さき山』『モチモチの木』、

安房直子『奥様の耳飾り』

他



芸人衆お見知り置き



語り 北原久仁香 (きたはらくにか)

ナレーターとして活動するとともに、語りと和楽の舞台を企画・出演。文化財など、由緒ある会場での公演を続けている。2006年から朗読の指導も開始。シンプルながら奥の深い朗読表現を、和気あいあいと少人数で楽しんでいる。趣味の野菜作りも七年目…目指すは芸農人だが、道は遠い。



津軽三味線 小池純一郎 (こいけじゅんいちろう)

日本映画学校卒業後、芝居の世界へ。演劇を通し津軽三味線と出会い、その魅力に惹かれる。小山流の門を叩いた後、流派にとらわれないスタイルで、現在に至る。



箏 山田雅生 (やまだまさお)

広島市出身。生田流箏曲 師範。幼少期は触れる程度だったが、十代後半、表現手段の面白さに気付く。語り・人形劇・芝居などとも共演多数。



公演の様子

◆文化財を舞台に

登録有形文化財 いっきすあふん 一擲庵



森鷗外生誕 150 年歿後 90 年には、『高瀬舟』、

池澤夏樹作『鮎』、

平岩弓枝作『ちっちなかみさん』

菊池寛『奉行と人相学』などをご覧頂いています



東京都指定有形文化財
求道会館

仏教界のみならず幅広く同時代の知識人に大きな影響を与えた、浄土真宗大谷派の僧侶・近角常観が、広く公衆に向けて信仰を説く場として、大正 4 年に建立した求道会館。建築は、武田五一。素晴らしい仏教建築の中、津軽三味線・箏・語りが絶妙に調和。



東京都名勝指定文化財 旧安田楠雄邸庭園～語りと和楽～

池波正太郎没後20年には「鬼平犯科帳」の原型とも言うべき短編『白浪看板』を、七夕に因み、鳥越碧作『織姫』（小千谷縮の祖 明石次郎の孫である老女が、地元織物の歴史と故郷越後への思慕を、切々と語る珠玉の作品）を上演の際には、雪の小千谷取材も実施。



又、旧安田邸にも程近い田端の地は、多くの文豪や芸術家が暮らし、

文士村と呼ばれた。

その中心的人物 芥川龍之介生誕120年には、旧安田邸が建てられた前年発表の

『奉教人の死』を、箏と語りで舞台化。

← 鬼才中島敦の名作『山月記』（語り・箏）。

◆子どもたちと



心があたたかくなる物語を和楽と一緒にたのしみましょう



楽器の紹介や歌も交えながら、「泣いた赤おに」「花さき山」などのじーんとするお話をビッグ絵本とともに。
終演後は楽器体験タイムも♪ 箏や三味線は初めてのちびっ子にも大好評。

小さいお友達に大好評の「はらぺこあおむし」



リハーサル風景は、**YOU TUBE**でもご覧頂けます。

<http://www.youtube.com/watch?v=u0Yc7yQ1PEA>





朗読わーくしょっぷ「言の葉を愛でる」

～語り手から作品の情景が湧き上がり、聴き手も共感する・・・

そんなひと時が創れたら～

朗読を、生活やお仕事に活かしながら楽しむ方々が、ご参加です。

大人数の朗読教室では、自分の読む時間が少ないことがあります。が、「言の葉を愛でる」では1クラスは3～5名程。何回も順番が回ってきますので、たっぷりと声を出して下さい。

大人の趣味を真面目に楽しめる方、是非、御参加下さい。

【これまでの題材】

「器量のぞみ」(宮部みゆき)、「晩夏の光」(藤沢周平)、「伊勢屋の黒助」(池波正太郎)、

「白」「蜜柑」「トロッコ」(芥川龍之介)、「高瀬舟」(森鷗外)、

「マイ・ラスト・ソング～あなたは最後に何を聴きたいか～」(久世光彦)、

「よだかの星」(宮沢賢治)、「一ノ字鬼」「花さき山」(齊藤隆介)、「道成寺」、

「二十年後」(O・ヘンリー)、「少年の日の思い出」(ヘルマン・ヘッセ)

「夏の葬列」「他人の夏」(山川方夫)、「涼風」(鷺沢萌)、「蟹塚縁起」(梨木香歩) など

ご興味のある方、初めての方でもお気軽にお問い合せください。

随時、見学や体験も受け付けています。

【会場など】言の葉を愛でる庭 (JR田端駅 10分弱)

グループわーく：月二回 2時間半程度、ほぼ4ヶ月毎に新しい作品にしています。

参加費…4ヶ月計8回 円18000 (会場費・教材費込)

個人わーく：スケジュールは、ご本人と講師の予定に合わせて決めましょう。ご希望の作品、もしくは講師が提案した作品を期限を決めずに、納得いくまで取り組みます。

参加費…1回円2500

朗読わーくしょっぷ「言の葉を愛でる」ブログ

<http://blog.livedoor.jp/kotonohawomederu/>

単発のわーくや、出張も承ります。ご希望をぜひ、お聞かせ下さいませ。

遠方にお住まい、定期的に通うのが難しい場合は、音声のやりとりで進める[通信わーく]も行います。



あなたのもとへ 「かたりと」 を

目的、演奏時間、ご予算等によりご相談を承ります。

*時代物・文学小説など (リクエストにも可能な限りお応えします)

*民話・昔話・童話など

(お子さんも大人の方も一緒に楽しんで頂ける物語を、大型絵本なども交えて。)

*学校、学童施設、子ども劇場、幼稚園、保育園などの観劇プログラム

*催し・会場、御当地・季節に似合うプログラム

*結婚披露宴などのお祝い、記念祝賀会などの余興

*カフェ・ギャラリー・個展会場などでのぶち和らいぶ

*朗読わーくしょっぷ

～聴き手と共鳴して生まれる想像力のドラマを創りましょう

その他、ご要望などもお聞かせ下さい。



【かたりと 連絡先】 ご相談、お問合せはお気軽にどうぞ。

かたりとHP <http://katarito.web.fc2.com/>

e-mail : katarito_wagaku@yahoo.co.jp

